

令和3年度第3回 名張市地域公共交通会議 議事概要

日 時 令和4年3月15日(火)

午後2時00分より

場 所 名張市防災センター 防災研修室1, 2

出席者：(敬称略)

(1) 委員

池田 守 (市民公募)
澤田 恭子 (市民公募)
古谷 久人 (地域づくり代表者会議副会長)
喜多村 明美 (名張市老人クラブ連合会女性部副会長)
山根 秀生 (名張市身体障害者互助会事務局長)
勝木 祥文 (名張商工会議所総合商業部会長)
松本 幸正 (名城大学理工学部教授)
中平 恭之 (近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科教授)
平岡 祐一 (三重交通株式会社伊賀営業所所長)
深山 桂右 (深山運送有限会社名張エフバス営業所所長)
橋本 智幸 (株式会社メイハン取締役部長)
辻本 敬也 (近畿日本鉄道名張駅駅長)
豊永 育子 (公益社団法人三重県バス協会)
鈴木 博行 (国土交通省中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官)
濱口 竜一 (代理出席、三重県地域連携部交通政策課係長)
森上 浩伸 (名張市副市長)
谷本 浩司 (名張市都市整備部部長)

(3) 事務局

都市整備部都市計画室3名、株式会社サーベイリサーチセンター(コンサル)2名

会議の公開・非公開 : 公開

傍聴人: 0名

協議案件: ①「名張市地域公共交通計画」案の検討について

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事

協議案件①

(事務局より資料に基づき説明)

座 長 ありがとうございます。これまでに皆様からいただいた意見、それを含めた修正点ということで参考資料の方でご説明いただいております。そして、今回新たに加えた内容

として、ご説明をいただきました。色々お気づきの点等ご質問やご意見をいただければと思います。いかがでしょうか。この計画に基づいて令和10年までいろいろな施策が行われていくこととなります。将来の名張市の公共交通の姿を描きながら、ここに書かれている内容で十分かどうかご確認いただければと思いますがいかがでしょうか。

委員 第7章、53ページのことで、2～5については見直しと再編ということになっています。これを行うについては、2, 3番については事業者の方針があるかと思うので、事業の中にどう反映していくのか、また、4, 5番についても再編ですから、これについては名張市のコミュニティ交通推進方針に基づき運行されていると思いますが、その方針も変更ということになるのか、それぞれの事業についても必要かもしれませんが、それぞれに審議会を開いて多くの人の意見を聞き入れた中で検討することも考えているのか、どの程度のことを考えているのかお聞きしたい。

事務局 その点につきまして、言葉のチョイスも含め色々どのような表現をしていくか、どのような事業をしていくかを検討しているところですが、ご指摘の通り、名張市のコミュニティ交通は平成19年に策定した名張市コミュニティ交通推進方針に基づいて運行しています。当時の状況から情勢も変わってきていますので、この点についても計画期間内で整理をし直すか、必要に応じて変更することが必要ではないかということでこの項目を挙げさせていただいております。これについてはコミュニティバスの事業者でお集まりいただいている地域公共交通の運行協議会の方でも例えば隣り合う同士のコミュニティバスの連携などご意見やご検討をいただいているものもあるので、そういったことも含めて検討して必要な事業に取り組めるものがあればする必要があるかなと思っています。

委員 そういったことを決めるにあたっての協議について、こういった場とするのか、新たに審議会を設けるのか、どうかたちですか。コミュニティ交通推進方針の時は皆さんの意見を聞く会があったかと思いますが。

事務局 詳細についてはまだまだですが、公共交通に関わる関係者が地域公共交通会議でお集まりいただいておりますので、基本的にはこの場でご検討いただくことが必要かと思っています。ただ、コミュニティ交通は各地域で運行していただいておりますので、地域公共交通連携協議会の意見も伺ったうえで進めていかなければならないと思っています。

座長 よろしかったでしょうか。この表現、語尾などはまだこれから見直し、精査していくということです。これらの鉄道、バス等の位置づけをして運行、必要に応じて見直しする、ただその具体が明確ではないのでそこを詰めながら表記についても検討していくとなるかと思います。私の方から皆さんが考えている間に、少し気になった点をお話させていただきます。まず、前半で色々な分析をしていただいている、そこから課題を出していただいています。47ページで課題を3つに集約しています。基本的には1番が公共交通のネットワークをちゃんと作りましょう、2番目がわかりやすくしましょう、情報提供など、3番目はみんなで支えましょうというかたちになっております。ハード、ソフト、姿勢という分け方はいいなと思いますが、一方で名張らしさが無くなっているなと思ひまして、いわゆる名張の特徴といったものがここに十分反映されていないので、その意味では名張が抱える課題に的確に対応できるような計画になりうるのだろうかという心配があります。個々の中に包含している

といえばそうなるかもしれませんが、もう少し明確にしてもいいのではないかと。これは課題ですので、方針の方でもっと明確にってもらう必要があるのかもしれませんが。そうすると方針が49, 50ページからになります。まず、目指す姿「ひとが交わりところが通う、みんな未来へつなぐ地域公共交通ネットワーク」、これは名張らしくていいなと思っています。特にみんなで未来へつなぐというのはどこの自治体でも使える言葉ではないかと、名張のこれまでの実績があるからこういう言葉が書けると思いますし、ここにお集まりの市民の方々がいいとおっしゃってくれるならこれでいいなと思います。ところが基本方針にいくとその辺が少しずつ薄くなっているなと思います。基本方針1, 2, 3は名張でなくともどこのまちにも当てはまってしまおうと思います。ここにこそ、名張らしいものを入れてほしいと思っています。名張らしいというのはみんなで未来へつなぐ、すなわち地域の方々が自分たちの交通を考える仕組みができていて、実際に運行していただいております。これは大変素晴らしいことだと思っていますので、そういう意味では3番ですね。3番はもっと全面に出してほしいと思いますし、交通サービスの仕組みづくりではなくて、みんなで一緒に考えて支える仕組みづくりですよね。市民の方と一生懸命やっていくんだというその仕組みを作っていただいた。そこに「未来につなぐ」という言葉があってもいいと思います。皆さんと一緒に未来へつないでいこうという気持ちをもっと表れてもいいのかなと思います。

そんな感じで皆さんご自由になんでもご発言いただければと思っていますので、いかがでしょうか。では、せっかくなので順番にお伺いしてもよろしいでしょうか。

委員 実際来るときにナッキー号を利用してきましたが、利用者数が少なくなっているということを知っていましたが、今日乗ってきた感じでは各停留所での乗り降りが結構活発にありまして、ナッキー号については結構乗っているのではないかとイメージでしたが、天気などの関係も大きいかと思いますが、利用のしやすさという面では定着しているのかなと思います。ただ、市内の移動だったらいいのですが、伊賀地域全体の移動と考えると乗り継ぎや本数の点でバリアが多いと思います。行った先での交通の状況も悪いというのがありますが、伊賀全体で利用できる交通体系についての検討も必要かと思います。

座長 今日ナッキー号をお使いいただいたということでありがとうございます。広域の移動、名張の場合は伊賀との連携、あるいは大阪、近鉄大阪線を使ってということだと思っておりますが、その視点が足りないということですがいかがですか。

事務局 確かに、広域の部分については、近鉄、三重交通の伊賀と名張を結ぶ路線、コミュニティバスでの他市の隣接地域への運行をしております。そういったところも見ながらですが、伊賀市との連携について、この計画の範疇になるかも含めて検討します。

座長 一応51ページの基本方針1の鉄道および周辺市町村をつなぐ路線バスを広域的アクセスの軸として位置づけ、サービス水準を維持しますとありますので、ネットワークはひとまず残ると、おそらくその利便性の向上かなと思っています。なかなか便数を増やすのは難しいと思いますが、情報提供やコミュニティバスとの乗り継ぎ、ダイヤの調整等やりようはあると思います。あるいは伊賀市の情報をこちらでも、こちらの情報を伊賀でも発信していただくということもあると思いますので、ぜひそれは名張としての特徴になってくるかと思っていますので、そういった取り組みもどこかで検討していただければと思います。

- 委員 言葉尻のことだけではありませんが、53ページの基本方針1の事業2、3で「見直し」とありますが、だいたいバスや鉄道のダイヤ改正時に見直しと聞くとたいへんイメージがよくないと思います。どのようにお考えでしょうか。
- 座長 いかがでしょうか。表現は見直されるということですが、現段階でどのような取り組みを予定されているのかお話しください。
- 事務局 現時点では路線の減便や縮小ではなく、効率的な運行について含めたかたちで記載しております。これに関しては当然事業者の方と協議をしていくというかたちとなります。
- 座長 とはいえ現実的な問題として、東京等でもそうですが、最終便が切り上げられたり、東京ですら減便という状況です。他のところでも需要がこれだけ減ってきているので、ある程度のサービス切り下げはやむを得ないところなのかもしれません。ただ、それを未来永劫受け入れるわけではなく、どこかで利用が戻ってれば増便等があり得るのではないかと思いますので、それを皆さんと一丸となって、行政も一緒になってなんとかしていこうという計画になればいいなと思っております。
- 委員 近鉄電車の沿線のことですが、美旗駅は水洗トイレではないです。奈良の室生口や赤目は観光地としてはすごくいいのですが、トイレの汚さがすごくて、蚊の巣みたいになっています。トイレを開けて蚊がぼっと出てくると本当に興ざめで、コロナ禍で近鉄電車大変だと思いますが、この機会にユニバーサルスタイルと言うのか、身障者の方も一般の方も入れるように、むしろ人が少ない今、工事をしていただけたらありがたいと思います。それと、12ページのバスの路線図を見ると、まちなかは網羅されているのに対して、過疎地の田舎の方はデマンド、予約のようなかたちで、人口も少ないので過疎のところは予約で中型タクシーやボックス車で運行する方が経済的に続くのではないのでしょうか。
- 座長 1点目も大変重要なご指摘で、今日僕名古屋駅で近鉄のトイレを使いましたが、古臭くて汚くて、日本ってトイレの整備が遅れていたのですが、多分どこから整備が進んだかということ、定かではないですが、日本道路公団が民営化されてJHから変わってすごくきれいになったと思いませんか。やはり民間事業者になると頑張って営業収入を増やさないと、ということでサービスエリアのトイレなどはきれいになっています。鉄道事業者はその辺余裕がないのか近鉄に限らず汚いところが多いと思います。JRはきれいになってきていると思いますが、いずれにしても何らかの対応をお願いしたいと思いますが、今日近鉄さんはお見えですか。
- 委員 トイレの件はご迷惑をおかけして申し訳ございません。美旗駅については資料によると令和2年度で乗車されるお客様が641名というところで年々減ってきております。名張市の駅で言いますと、赤目口、名張、桔梗が丘、美旗がありますが、そのうち桔梗が丘駅につきまして今年1月21日から無人化となって係員が巡回して対応する駅に変更させていただいております。事業1、広域幹線の継続運行ということでなんとしても鉄道を継続して事業をするというところで、断腸の思いで、コロナ禍における収益の減少というところでやむを得ないかなというところがございます。そして、トイレ及び駅構内の掃除については、所属員並びに清掃事業担当者が、1日に巡回できる頻度は限られておりますが、今もやっておりますが、そういったお声があるということを担当の者にお伝えしまして、なお一層利用さ

れるお客様がご不便に感じないようにそういう取り組みを何とかできないかと、明日から水洗にしますというのはお約束できませんが、今いる係員の中で作業ダイヤを触ってみるなど考えたいと思います。

座長 近鉄だけの問題ではないですし、他のところのトイレ、例えば名古屋市の地下鉄も汚いです。そういう意味では、百貨店はすごくきれいです。まずは人が多くて儲かっているところから順番にきれいになっていると感じますが、全部を交通事業者がするのがいいのかという時代になっていると思いますが、インバウンド対応という意味でも、世界から色んな方がいらっしゃった時に、気持ちよく日本で過ごしてもらおうという戦略もあり得ると思いますが、国の方針等も含め結節点の整備等がメニューとして使えるものがあればそういったものの活用も考えられるかもしれませんね。支局さんいかがですか。トイレと聞いてなるほどなと思いました。

委員 トイレの整備というのは、インバウンドの補助の方でそういったメニューがありますし、鉄道のバリフリ化で補助できるメニューもありますので、そういったもので活用できるものがあればぜひ使って整備していただけたらと思います。

座長 まったくないわけではないということで、近鉄単独でもいいですし、行政と手を組んでいただいてそういうものの活用を検討されてもいいかと思っています。いずれにしても一長一短ではいけないと思っていますが、今の認識は重要だと思っていますので、結節点の整備というところでは意識していただければと思います。もう1点、例えば、いわゆる定時定路線と面的なデマンドのようなものを導入した方が効率的ではないかというお話だったかと思いますが、おそらくここに書いてある基本方針3の4番目、福祉有償運送や生活支援事業における移動支援サービスなどとの協力、企業やタクシー会社との連携を図り、新たな移動手段の検討を行い、持続可能な交通サービスの充実を図りますとありますので、どうかたちで明確にするかはわかりませんが、一応読み込めるかなと思います。よろしいですかね。今後具体的な取組が出た時に皆さんからご意見をいただければと思います。

委員 名張市老人クラブ連合会です。身近に公共交通機関があると個人としては感じなくて、今まで暮らしてこれたこともあり、公共交通の目指す姿や基本方針、目標で「ひとが交わり、ここが通うみんなで未来へつなぐ、地域公共交通ネットワーク」とありますが、なかなか地域の人と集まってこういう課題を提供していただくということもありませんので、こういう精神だということをわかってもらうために、色んな団体に会合をもってもらって地域の皆さんに少しでも知っていただくようなことがあれば優しさにつながるんだと思います。

座長 重要なお指摘だと思います。この計画を策定しても、あるいはみんなで支えるものだと書いても、地域の方々に知ってもらわないといけないということですね。それは今まで以上に地域に入って行って知ってもらうという行動をとってほしいというお話かと思いますが、事務局はこういった姿勢、これまで以上にということはあるでしょうか。

事務局 この計画の策定につきましては、来年度も引き続き策定をしていく中で、市民の皆さんにはパブリックコメントで意見を徴収する、もう1つは地域の代表者会議の中でそれぞれの地域の代表者の方が出られていますので、その中でもこの計画のご説明をさせていただくところから始めさせていただこうと考えております。

座 長 色々考えていただいているので、今後具体的な事業として入ってくるかと思います。今名張では確か YouTube を使ってナッキー号ではこんなところに行けますといったことをさせていただきましたよね。

事務局 今年を取組としてご案内させていただきます。コミュニティバスが6路線があり、コロナ禍の中でなかなか啓発ができないという状況の中で、まずもって YouTube でナッキー号の路線を4つの動画に分けて停留所をすべて紹介し、主なところはその停留所の近くにどんな施設があるのかといった情報をご紹介します。ナッキー号の全路線を公開していますので、よろしければ YouTube で名張、ナッキー号と調べていただければその動画が観られますのでお時間のある時に観ていただければと思います。今後以降については、他のコミュニティバスでもそれぞれの運行協議会と連携しながらご案内をさせていただけたらという取組を開始しています。

座 長 市としては色々されております。若者には届きやすいと思います。そういったことがこの取り組みに入るといいかなと思います。さらに強化をとということですので、そのあたりも意識いただければと思います。

委 員 名張市身体障害者互助会です。名張の取組として現状把握から課題出し、目標達成とそれに向けた取り組みの設定をされていて、とても意義のあることだと思いますし、互助会の会員は85、6名おりますが、ほとんどの方が70歳を超えています。執行部の中で免許を返納されてコミュニティバスなどを利用される方がたくさんいます。買い物などに非常に役に立っていると聞いております。その中で、停留所が多すぎて目的地に行くまでにかなりの時間がかかるということで市役所に行くのも1日がかかりになるというぼやきをいただくこともあります。障害者の場合、無料で利用できるのも助かっているのですが、目的地に行くのに特急のように少し飛ばしていくのもいいのかなという意見が出ておりました。

座 長 これは永遠のテーマですね。事務局いかがですか。

事務局 多くの方にご利用いただいているということで、ありがたく思っておりますし、コミュニティバスは障害者にご利用いただいている率が高く、そういった方のためにもなっているんだなということで、担当として数字を見ながらですが実感しているところです。ご指摘いただいたようにナッキー号でも車両を1台で運行していること、それなりに広いエリアをカバーしているところがあり、かなり長時間乗っていなければいけないケースもあります。ただ、市街地における公共施設や買い物施設が点在していることもあり、現在のルートになっておりますが、ナッキー号だけではなく、市内の移動には三重交通の路線バスも非常に多くの路線を運行していただいておりますので、市役所については時間によってコミュニティバスと三重交通を使い分けていただけたらと思います。また、そういった利用ができるような情報提供の仕方も考えていかなければいけないと思っております。

座 長 そういう意味ではわかりやすい情報提供、路線バス、ナッキー号、地域バスも含めた適切な情報をわかりやすく提供していただくということですね。使い分けていただくというのは大変大事だと思います。早くいきたければちょっと高いですが三重交通を使っていただく、安くいきたいということであれば、ナッキー号を使うなど上手に使い分けていただければと思います。ただ、使い分けるだけの情報提供が必要だとおっしゃる通りだと思います。

委員 名張商工会議所です。私が会議に出席させていただくとよく立場的な話をさせていただくのですが、今回の資料の中で35ページの公的費用負担について課題になっていて、乗降者数の減少傾向の中で経営的に厳しいとよく言われておりますが、結果的にいかに公的負担を減らし、乗客のニーズに沿うかということで、特に2030年問題で総人口の1/3が65歳以上になる中で公共交通は非常に急いで整備していかなければならないと感じます。この資料の中で気になったのが、日常の買物でどこに行くかという資料がありますが、20か所の利用頻度についてありますが、近々では大型のホームセンターがオープンしたりしている中で、買い物が大きなところに集中してきて残念ながら私どもを昔から支えていただいている旧町の商売さんであったり物販の店が厳しい状況に置かれているのは確かです。ただニーズとしてはこういった大きなところに集中するというのはやむを得ないと思いますが、その中で公共施設に行くときの便利さも問われますが、いかに買い物に便利なバスがほしいということではないでしょうか。また、UNYは三重交通のバスで独自のお買い物バスを出されていると出ておりました。公的資金を投入し続けきれないというのであれば、路線が減ってしまうということも出てくるかと思いますが、それを最小限にして維持していく、増やしていくことを考えると、こういう利益が集中しているところから、コマースであったり、協力していただき収入として得られればと思います。前もこんなお話をしましたが、頑張ろうと思いますというようにお聞きしたと思いますが、あまり結果が出ていないように思います。そういうことは、行かれた中で厳しいとなったのか、方法論的に難しいのか、その辺を前向きに、どのように企業体と付き合いしていくのかというのは路線バスの1つの課題だと思いますので、その辺をお聞かせいただければと思います。

事務局 アンケートでコミュニティバス利用に関しての公的費用の負担の考え方をお聞きしましたが、網形成計画の際にも同様の質問をさせていただいており、それと比較すると前回よりもコミュニティバスサービス向上のために公的資金を増やした方がいいというご意見は増えています。公的資金の増額についても今後検討していかなければならないと思います。商業施設からの協賛等以前からもご提案いただいている中、ナッキー号については協賛の仕組みを設けており、特に沿線の施設に対して以前から声をかけておりいくつか協賛事業者となつていただいています。私どもも折を見てご訪問させていただいておりますが、アピールの仕方も悪いのかもしれませんが、なかなかいい返事をいただけないところです。そういったものも引き続き考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

座長 なかなか簡単にはいかないかもしれませんが、もしそういう取組をやろうというのであれば、そういうのが読める計画にさせていただければという気はします。結局、無料バスを各商業施設が出してそのバス代よりもたくさんの方が来てくれるなら出すわけですよね。あるいは崇高な理念をお持ちで地域に貢献したいというので出すというものあり得るかもしれませんが、経済原理で考えるとそれは難しいと思います。逆に地域の方々に貢献するという営業姿勢があるところを名張市民が支えていくなればそれは変わってくるかもしれませんが、結局は皆さんの行動が企業活動にも影響していくということだと思います。今全世界的には脱炭素ということでそういった取組みをされている企業を支えていこうという動きがありますので、同じように日本でもそういう動きがあれば、企業が変わる、商業施設が変わって

いくという流れになっていくんだろうなという気はしますが、そこまで期待できるような段階ではないと思いますし、公共交通の計画に書くこともなかなか難しいですね。どうもありがとうございました。他にご質問はございますか。

委員 52ページの目標指標の設定について、利用者数や満足度、認知度などが指標としてありますが、令和2年度の活性化再生法の改正で地域公共交通計画の目標には定量的な目標として収支と行政負担額を定めるように努めることとなっております。これはPDCAを着実に進めるところから、より一層の具体性、客観性、わかりやすい目標が必要ということで、収支や負担額は事業の効率性を測る指標としては非常に重要であると示されています。努力目標ではありますが、こういった目標の設定を考えていただければと思います。

事務局 手引きの方も確認しており、行政負担や収支についても検討させていただきたいと思います。
座長 目標にするかどうかはともあれ、必ずここは確認をして皆さんに知ってもらおうと。先ほど委員からも行政負担についてありましたし、そこは市民の方々にも知っていただき点検するようなかたちはお願いしたいと思います。

委員 私も目標指標について、気になるのが認知度で、ご高齢の方はスマホなど使われないので認知してもらわないといけないと思いますが、若い子はスマホですべて完結してしまうので、認知度を上げるというよりも、調べやすさなどを指標に入れていくべきかと思いました。いろんな満足度についても、よくあるのが利用者の利用満足度を聞いているところもあって、僕は利用者の満足度は高いのが当たり前だと思っていますので、満足度でもいいのかもしれませんが、魅力度など一般市民の方も一緒に考えるというところがあったので、そういった指標も含めての満足度を今後考えていけばいいのかなと思いました。先ほど民間事業者との連携という話で、ネットスーパーの配送などを公共交通で行い、例えばバス停まで取りに来るような連携、もう少し距離が遠ければ近鉄との連携も考えてもいいと思いました。また、先ほどのトイレの件で、実は学園の方でも学生の満足度を上げるというのでアンケートを取ったら、トイレというのが非常に多く、我々の学園でもトイレがきれいになって魅力度が上がっています。どこかの大学でもトイレの改修によってかなりの効果があったというので、トイレは実は人を集める魅力度をアップさせるいい方法だと思いましたので、参考にご意見しました。

座長 指標に関して認知度、満足度、違う方法もあるのではないかとということですね。また、人を運んでくるのではなく、バス停まで物を運んでくるような取組を取り入れてはどうか、あとトイレの話ですが、いかがでしょうか。面白いアイデアだと思いますが。

事務局 大変参考になるご意見で、物を自宅まで運んでくるのではなく、バス停まで取りに行くという発想はありませんでしたので、ぜひとも参考にさせていただきながら検討させていただきたいと思います。トイレの関係につきましては、トイレがきれいになれば環境も変わるということがあります。以前教育委員会で勤務させていただいた際に、学校のトイレの洋式化等で生徒の態度や、不登校の減少などに影響されるのを実感したことがあります。名張市としても今後学校のトイレの改修に力を入れていきますが、合わせて公共交通のトイレも重要だと改めて思いました。

座長 他の会議でトイレの話題出たことないのでいいと思いますよ。何とかしましょうよ。でもト

イレはお金がかかりますので、何かいい方法はないか皆さんにアイデアを出してもらって見つけたらぜひ教えてください。

- 委員 素案の段階で細かいことを聞いて申し訳ないのですが、6～7章の部分で気になる点がいくつかあります。基本方針、具体的な展開や目標指標の設定、その達成のための事業を書き込んでいただき、わかりやすいのですが、51ページの基本方針1の中の市内に点在する高密度な住宅団地、郊外部に立地する集落においては、買い物や通院などの需要に応じた交通サービスを展開というのは、既存の交通サービスか新たな移動サービスを考えているのかが1点です。それを受けて実施事業として何か書き込めなかったのかなと思った次第です。また、基本方針2の中の運転免許を返納した高齢者等に対しては、閉じこもりを防ぎ、外出機会を失わないための施策を展開となっておりますが、例えば周辺環境を整備して高齢者が自分たちで自発的に出ていくのを行政として見守るのか、積極的に入り込んでいってバスの乗り方教室などを開催するのか、どちらを想定していますか。また、基本方針3で福祉有償運送や生活支援事業における移動支援サービスなどとの協力、企業やタクシー会社との連携を図り、新たな移動手段の検討を行い、持続可能な交通サービスの充実を図るとあり、素案の段階でなかなか考えられていないかもしれませんが、他の自治体でこれに取り組んでいる事例がありますので、その事例を研究していただきたいと、こちらはお願いです。以上です。
- 事務局 基本方針1中の件ですが、どういった事業をしていくのかは今後7章で具体的に挙げていくこととなります。ただ、名張市の都市構造上丘陵地に住宅団地がありますので、地域に応じて必要な移動に対して公共交通だけではなく、公共交通以外の移動手段として、地域で外出支援を行っているところもありますので、そういったものとの連携なども含めてしていきたいと思っております。基本方針2の免許返納者とありますが、返納をした人だけではありませんが、自動車等を利用できない高齢者に対するの施策ですが、現在名張市では免許を返納した方に対する事業がありませんので、そういったものに取り組みたいという思いはございます。基本方針3についての事例については、県の方からご提供いただいた資料等も参考にしながら、例えば自動運転など新たな交通モードについて、実証実験など名張市に適したものがないかを考えていきたいと思っておりますので、そういったところで参考にしたいと思っております。
- 会長 地域交通というのは行政負担が伴います。人口が減れば減るほど行政負担は増えるという逆効果になってきます。消費者数を増やすということもしっかり考えないといけないですし、名張らしさを出していかないといけないという観点でいくと市内だけでなく市外にも目を向けた施策を打っていくべきかなと実感しています。その中で市として都市整備部が地域公共交通会議を担当していますが、市の中でも観光、赤目や青蓮寺だけでなく市内には小さな観光地がありますので、そういった掘り起こしをしていく。もう1つはハイキングや散歩コースをたくさん作っていくということで、最近健康増進の観点が非常に大きいので、そういった方に目を向けていただき地域公共交通を乗ってもらうということ。そういった事業をしていこうとなると、市の担当は地域環境部になりますが、15地域の協議会が活発に活動していただいております。その各地域で特化した散歩やハイキングコースを設定してもらい、団地内でも中を歩いてもらってこんな店があるというのをアピールしていただく。そして各地域を結ぶように連携した事業も健康増進の観点で連携しながらやっていくというの

で市役所内部の連携をしっかりとって地域交通に結び付けていく。そこには市内市外問わず集客していくべきだと思います。今日の目標や展開の中には読めるところがたくさんありますので、うまく読んでこの計画を立てていくことが重要なかなと思います。また、スマホで色々チェックできるのが若い方ですので、将来は高齢者もスマホを持つようになるかもしれませんが、それまでは時刻表などをよりわかりやすく皆さんに提供できるような体制を取っていきたいと思いますので、ご協力をお願いします。トイレに関しては、昔農業集落排水事業をしていた時に、トイレが水洗化になったことで家の周りのハエがいなくなり、衛生面がよくなったというのと、都会に行った孫が帰ってくるというのを聞きました。今市役所でも洋式化を進めています。そういうところは目に見えない効果が出ると思いますので、近鉄にぜひとも頑張ってください、我々としても近鉄に乗っていただくような市外からの集客の施策もやっていきたいと思いますので、またご協力のほどよろしくお願いします。

座長 たくさんいいヒントをいただきました。読み取れるのですが、今伺ったのはまさに名張らしさ、さらに感じたのは、みんなで未来へつなぐという目標を具現化する方策を示していただいたなと思っております。それが観光であり健康、DX、DXはともあれ、そこに繋がると思いますので、明記していただくといいのではないのでしょうか。そうすると今お困りの高齢者を対象とした移動手段という役割も重要ですが、これからの若い人たち、外からの人たちにも使っていただきながら支えるという姿勢も大事なことだと思いますので、変わる転機だと、守りから攻めに入っていくような一歩にもなればいいなと感じました。同じように公共交通の利用というのはCO2の削減というのが世界的な要請にもなり大きなトレンドだと思いますので、認識して書き込んでもいいかなと思います。おそらく今後二酸化炭素削減に向けた取り組みに対して支援が出てくるかと思っておりますので、ぜひそれも意識していただければと思います。リニアがもし三重県に来れば高速バスなどで便利になると思っておりますので、名張の資源、ハイキングや歴史などを発掘しておいてずっと来られるように今のうちから意識をしていけばいいのではないのでしょうか。また事務局の方でもご検討ください。

委員 事業推進部会でも同じことをお話しましたが、名張は関西方面から伊勢神宮に行くまでにたくさんの方が近鉄などで通る駅になっていますが、駅で降りようという方が少ないのかなと思います。私は市外から来ていますが、名張で降りてみようと思えるようなPRが少ないかなと思います。病院の看板は多いのですが、赤目四十八滝、曾爾高原、伊賀上野の方に行けるルートもあります。名張で降りて公共交通を使っていただくことで名張市民の中で税金を減らしていこうというのではなく、市外から降りていただいた方に乘っていただいて収入を増やすということで看板などの観光PRも必要かと思っております。このままいくと人口減少していくにはどのまちでも同じなので、ぜひ外から人を呼んで収入を増やしていただければ、観光のPRは公共交通ではないと思いますが、公共交通に乗ってもらうようにしていただければと思います。

座長 観光についてももう少し充実させてご検討いただければいいと思います。それから、連携計画、網形成計画、公共交通計画と変遷してきておりますが、分野横断型の取組が他の自治体では入ってきているかなと思います。観光、福祉、教育セクションと一緒に何かをやってもらうというのも求められてきているかなと思います。あまりいい言葉だと思いませんが総動員という

表現がされていますが、行政の壁を越えた人々の移動を一緒に考えていこうと、そして行政効率を高める、利便性を高めるというので、そういう姿勢も少し欠けているところがあるかなと思いますので、そのために庁内で情報共有いただいて他のセクションとの意見ももらいながら一緒にやれないだろうかと思疎通してもらおうというのが大事かなと思います。その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。たくさん意見が出ましたので、事務局で検討してもらわないといけませんが、皆さんからご意見いただけることは素晴らしいことだと思いますので、皆さんからの意見をうまく反映するようにお願いしたいと思います。予定の議題はすべて終了となります。対面でたくさんご意見をいただいて、よかったかなと思います。このままコロナが収束して昔のようにちゃんと交流ができるというのを祈っています。皆さま方ご協力をいただきありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

事務局 1点だけ、本日お配りした資料、令和3年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価についてご説明いたします。

(資料に基づき説明)

事務局 皆さま、本日はご多忙の中、長時間に渡りご議論いただきありがとうございました。本日委員の皆さまから貴重な意見を頂戴しました。計画素案に盛り込みをさせていただき、来年度中の計画の策定を目指して参りたいと思います。来年度は庁内の調整、市議会への説明、市民の皆さんに向けてのパブリックコメント、地域の代表者会議にもご説明させていただく予定です。そのタイミングで再度本会議にて皆さまのご意見をいただきたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。本日は長い時間ありがとうございました。